

2017年度4-6月期 業績概要

(対象期間：2017年3月21日～2017年6月20日)

株式会社 安川電機 (TSE6506)

2017年7月20日

1. 2017年度4-6月期 連結決算

- 2017年度4-6月期実績（連結・セグメント別）
- 事業セグメント別売上高構成比
（16年度4-6月→17年度4-6月期）
- 仕向先別売上高 / 売上高構成比
（16年度4-6月→17年度4-6月期）
- 営業利益増減要因分析
（16年度4-6月→17年度4-6月期）
- 2017年度4-6月期における取り組み

2. 2017年度上期・通期 連結決算見通し

- 2017年度上期 見通し（連結・セグメント別）
- 営業利益増減要因分析
（16年度上期→17年度上期計画）
- 2017年度通期 見通し（連結：従前の決算期間）

3. 参考資料

- 決算期変更による影響額
- セグメント変更による過年度遡及
- 設備投資,研究開発費,為替状況
- B/S 構造の推移
- 連結売上高・営業利益推移
- 四半期連結売上高推移
- 四半期連結受注推移
- 主要生産拠点

本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与える重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ ACサーボモータ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ

など



ACサーボ
Σ-7シリーズ



汎用インバータ
ゼロシリーズ



マトリクス
コンバーター
U1000

ロボット

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接, 塗装用途向け
 - FPD搬送, ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオ・メディカル用途向けロボット
- ・ 人共存型ロボット

など



新小型ロボット
MOTOMAN-GP8



バイオメディカル向け
新形双腕ロボット



人共存型ロボット
HC10

システムエンジニアリング

【主要製品】

- ・ 鉄鋼プラント用電機システム
- ・ 上下水道用電気計装システム
- ・ 大型風力発電用電機品
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ

など



大型風力発電用
発電機とコンバータ



連続鋳造設備



パワーコンディショナ
Enewell-SOL P2H



上下水道用
電気計装システム

その他

【主要製品】

- ・ 情報関連事業
 - ・ 物流サービス
- など

1. 2017年度4-6月期 連結決算

2017年度 4-6月期実績（連結）

- 中国を中心とした旺盛な需要を受け、前年同期に対し大幅に増収増益（第1四半期としては過去最高）

	<u>2017年度</u> <u>4-6月期</u>	2016年度 4-6月期	<u>前年同期比</u>	
			増減額	増減率
売上高	<u>1,075億円</u>	904億円	<u>+171億円</u>	<u>+18.9%</u>
営業利益	<u>132億円</u>	55億円	<u>+78億円</u>	<u>+141.9%</u>
経常利益	<u>126億円</u>	53億円	<u>+73億円</u>	<u>+138.3%</u>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<u>98億円</u>	34億円	<u>+64億円</u>	<u>+185.0%</u>

2017年度 4-6月期実績（セグメント別）

- (M) : ACサーボの中国での好調な販売により過去最高
- (R) : 売上高が伸長し、収益性は改善

（単位：億円）

		2017年度 4-6月期		2016年度 4-6月期		前年同期比	
		実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
売上高		1,075		904		+171	+18.9%
(M)	モーションコントロール	541		408		+133	+32.6%
(R)	ロボット	357		324		+33	+10.2%
(S)	システムエンジニアリング	129		117		+12	+10.1%
	その他	48		55		▲ 7	▲12.3%
営業利益		132	12.3%	55	6.0%	+78	+141.9%
(M)	モーションコントロール	108	20.0%	46	11.4%	+62	+133.0%
(R)	ロボット	35	9.9%	22	6.9%	+13	+58.6%
(S)	システムエンジニアリング	▲ 7	▲5.2%	▲ 9	▲7.3%	+2	-
	その他	▲ 1	▲1.3%	▲ 2	▲4.0%	+2	-
	消去または全社	▲ 4	-	▲ 3	-	▲ 1	-
経常利益		126	11.7%	53	5.8%	+73	+138.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益		98	9.1%	34	3.8%	+64	+185.0%

〔注〕 2017年度4-6月期より「モーションコントロール」に含めていた太陽光発電用

パワーコンディショナを「システムエンジニアリング」に含める等のセグメント区分を変更

なお、2016年度4-6月期 実績については、セグメント区分変更後のベースで記載（詳細は巻末_参考資料を参照）

モーションコントロール

- ・ ACサーボは、中国を中心にスマートフォンやデータセンタ関連等での需要が牽引し、売上高・営業利益ともに大幅に増加
- ・ インバータは、中国のインフラ投資回復や、米国のオイル&ガス関連の需要回復を背景に売上は堅調

ロボット

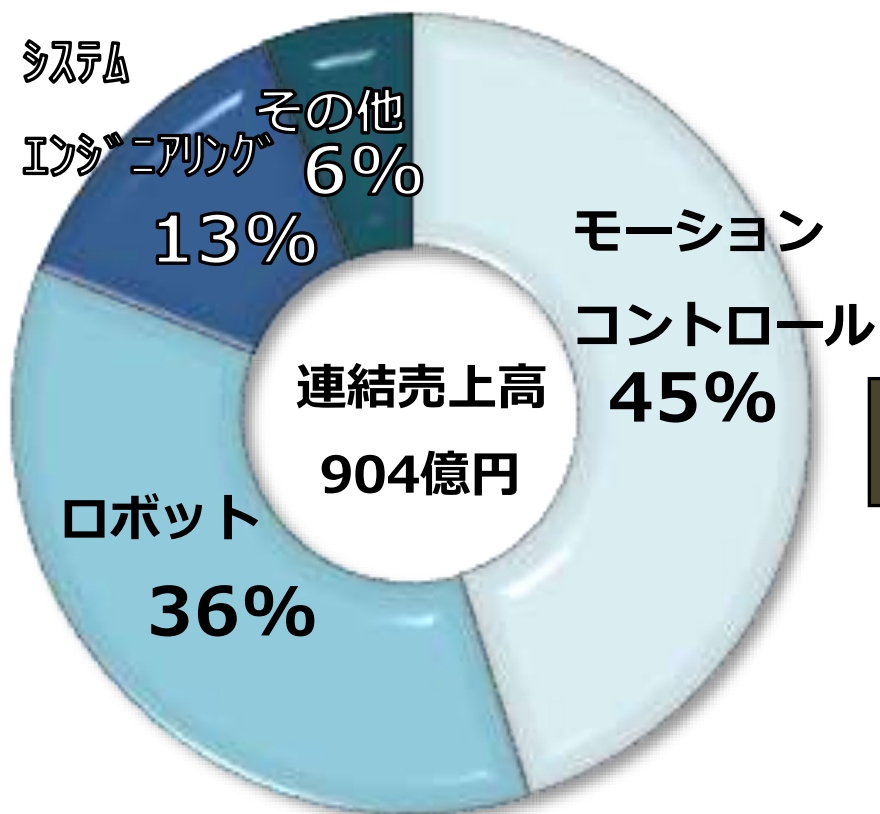
- ・ 自動車関連は欧米や中国を中心に堅調
- ・ 中国ではスマートフォン・家電など一般産業分野が拡大
- ・ 海外からの堅調な需要増により収益は改善

システムエンジニアリング

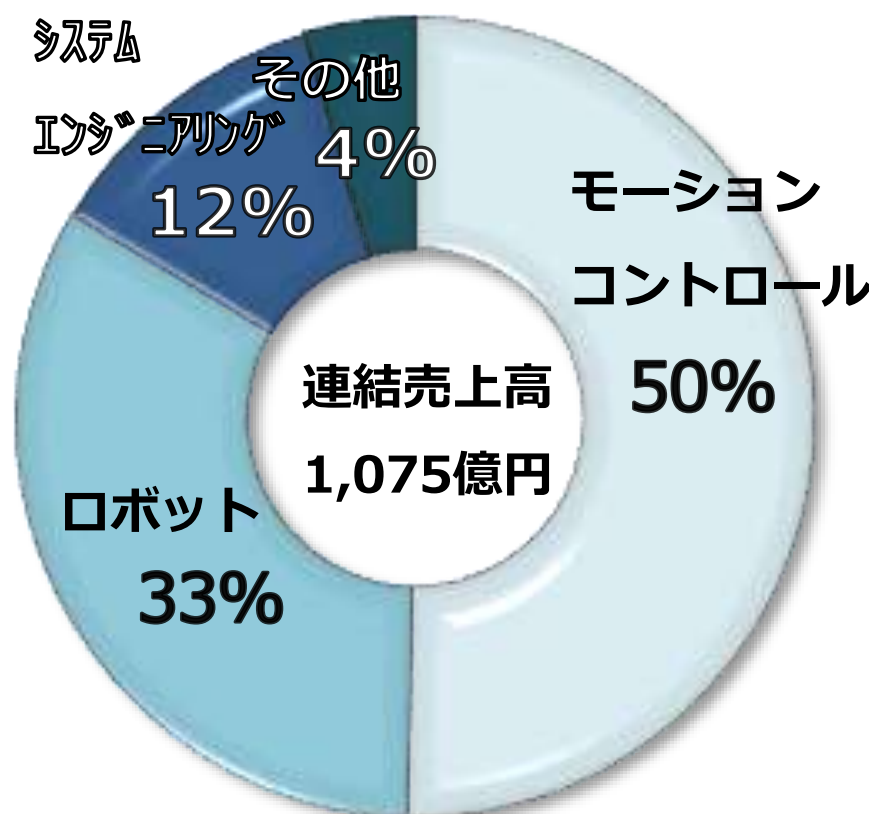
- ・ 鉄鋼・社会システムは堅調
- ・ 大型風力発電関連の売上は堅調
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナの販売は低調

事業セグメント別売上高構成比

2016年度 4-6月期



2017年度 4-6月期



仕向先別売上高（2016年度4-6月期 → 2017年度4-6月期）

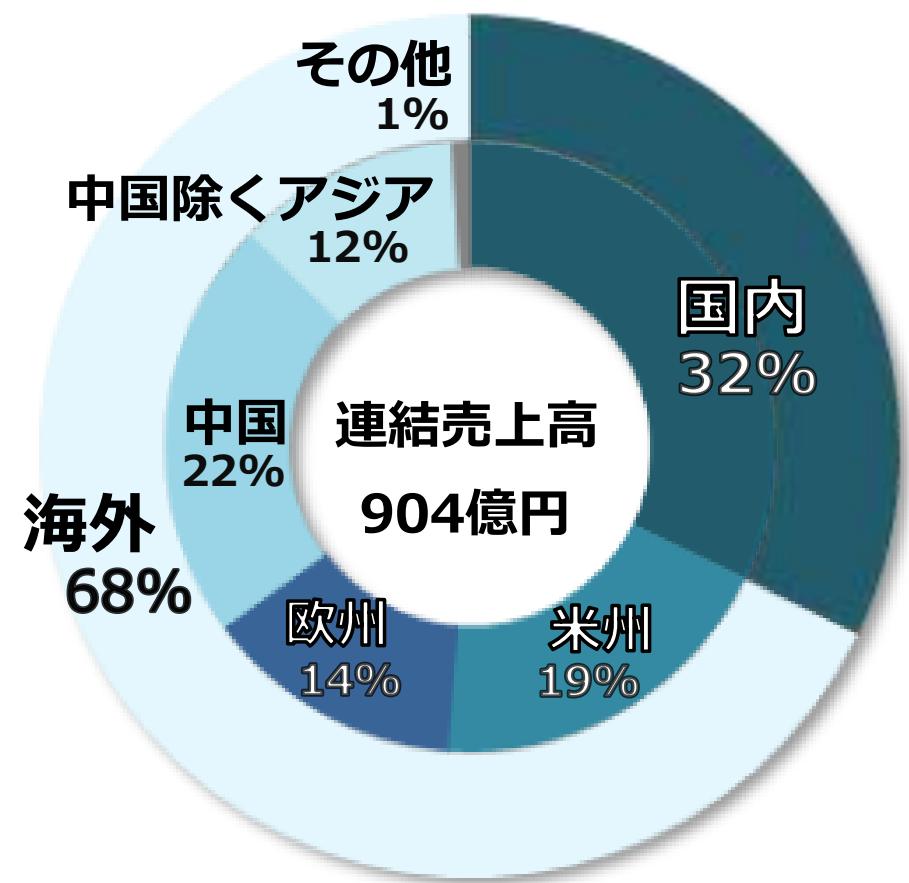
● 中国・アジアを中心に全地域で売上高が増加

（単位：億円）

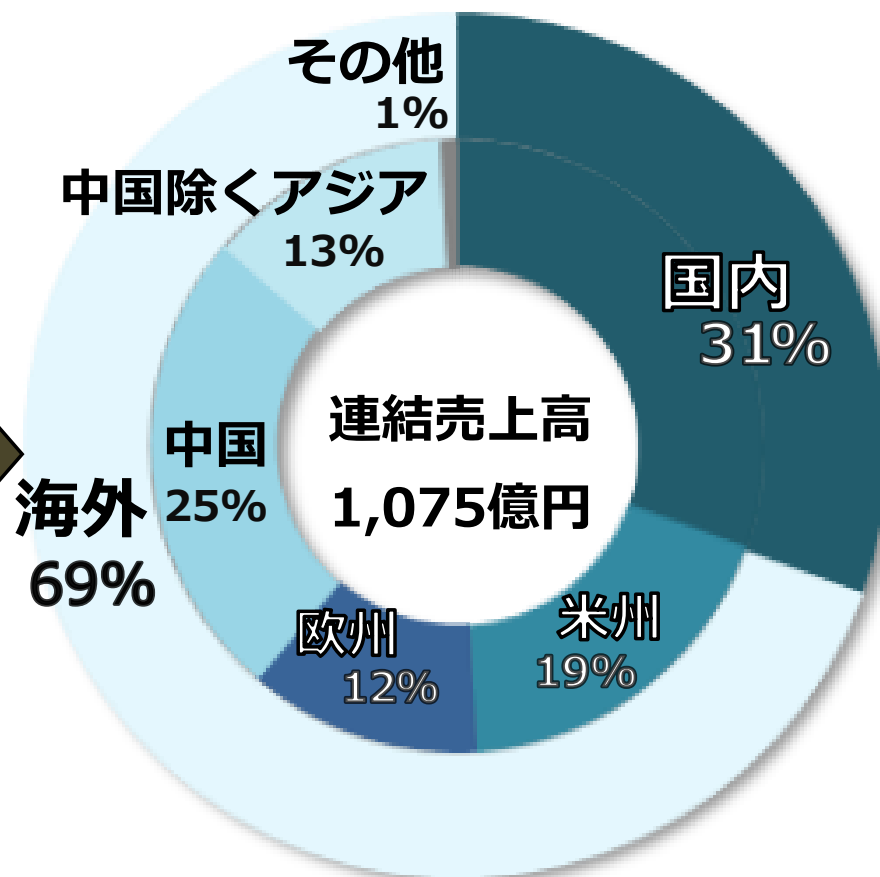
	2017年 4-6月期	2016年 4-6月期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,075	904	+171	+18.9%
国内	328	291	+37	+12.9%
海外	747	613	+134	+21.8%
米州	200	173	+27	+15.4%
欧州	131	123	+8	+6.4%
中国	269	203	+65	+32.1%
中国除くアジア	139	105	+34	+32.0%
その他	9	9	+0	+2.0%

[注] その他には、南アフリカ、オーストラリア等を含む

2016年度 4-6月期

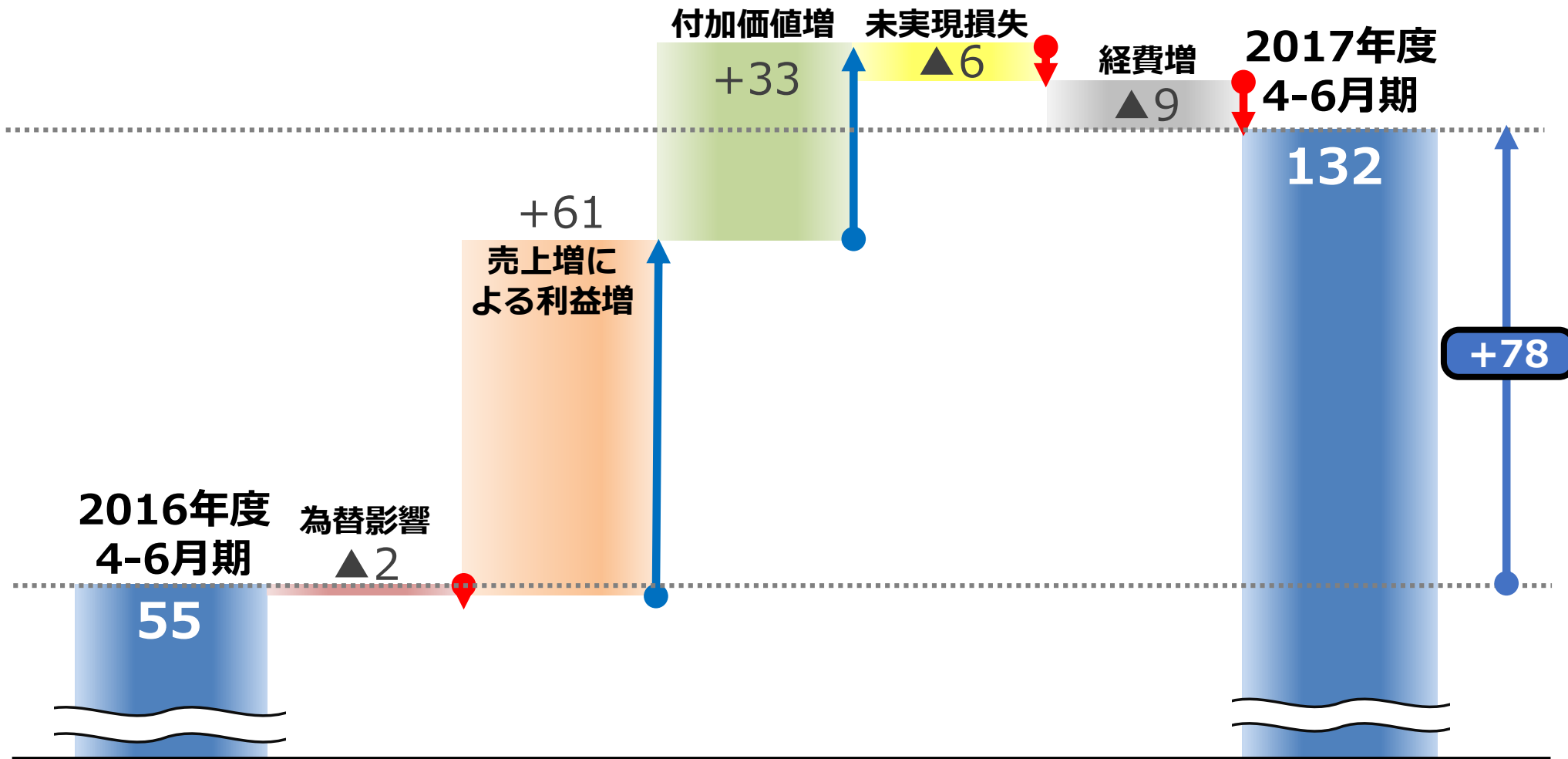


2017年度 4-6月期



営業利益増減要因分析（2016年度4-6月期 → 2017年度4-6月期）

（単位：億円）



2017年度4-6月期における取り組み

➤ コア事業における収益力強化

・ 重点市場へのリソース集中による拡販加速

➔ ロボット事業の一般電子機器市場での拡販加速

- ・ 中国 深圳 チャンイン精密技術と合併会社設立

➔ 製品ラインアップの拡充

- ・ エレベータ専用マトリクスコンバータ「U1000L」発売
- ・ 多用途向けロボット「MOTOMAN-GP25」発売
- ・ 新型塗装ロボット「MOTOMAN-MPX2600」発売

・ 新市場, 新事業領域の開拓

➔ 新製品によるアプリケーション創出

- ・ 人協働ロボット「MOTOMAN-HC10」発売
- ・ 業界最小・最軽量の新型ロボット「MotoMINI」発売
- ・ 世界初GANパワー半導体搭載アンプ内蔵サーボモータ (Σ-7Fモデル) 発売 (体積を従来比で半減)

➤ 開発力・生産力・販売力の継続的進化

・ グローバル生産能力の拡充

- ・ (M) : 瀋陽工場の増設(18年上期稼働予定), リーシオンファクトリーの新設(18年6月稼働予定)
- ・ (R) : 常州工場の増設(18年9月稼働予定), 江阴工場の新設(18年9月稼働予定)



マトリクスコンバータ
U1000L



MOTOMAN-GP25



GANパワー半導体搭載
アンプ内蔵モータ



MOTOMAN-MPX2600



MotoMINI

2. 2017年度上期・通期 連結決算見通し

2017年度 上期見通し（連結）

・ 好調な受注を背景に、売上高・利益ともに過去最高を計画

	2017年度 上期 予想	2017年度 上期 前回予想	前回予想比 増減額	2016年度 上期 実績	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	2,285億円	2,135億円	+150億円	1,876億円	+409億円	+21.8%
営業利益	282億円	197億円	+85億円	138億円	+144億円	+104.1%
経常利益	272億円	202億円	+70億円	138億円	+134億円	+97.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	183億円	133億円	+50億円	86億円	+97億円	+112.6%

[注] 表内「2017年度上期 前回予想」は、2017年04月20日 通期決算発表時の数値

2017年度 上期見通し（セグメント別）

・ (M)(R)を中心に大幅な増収増益を計画

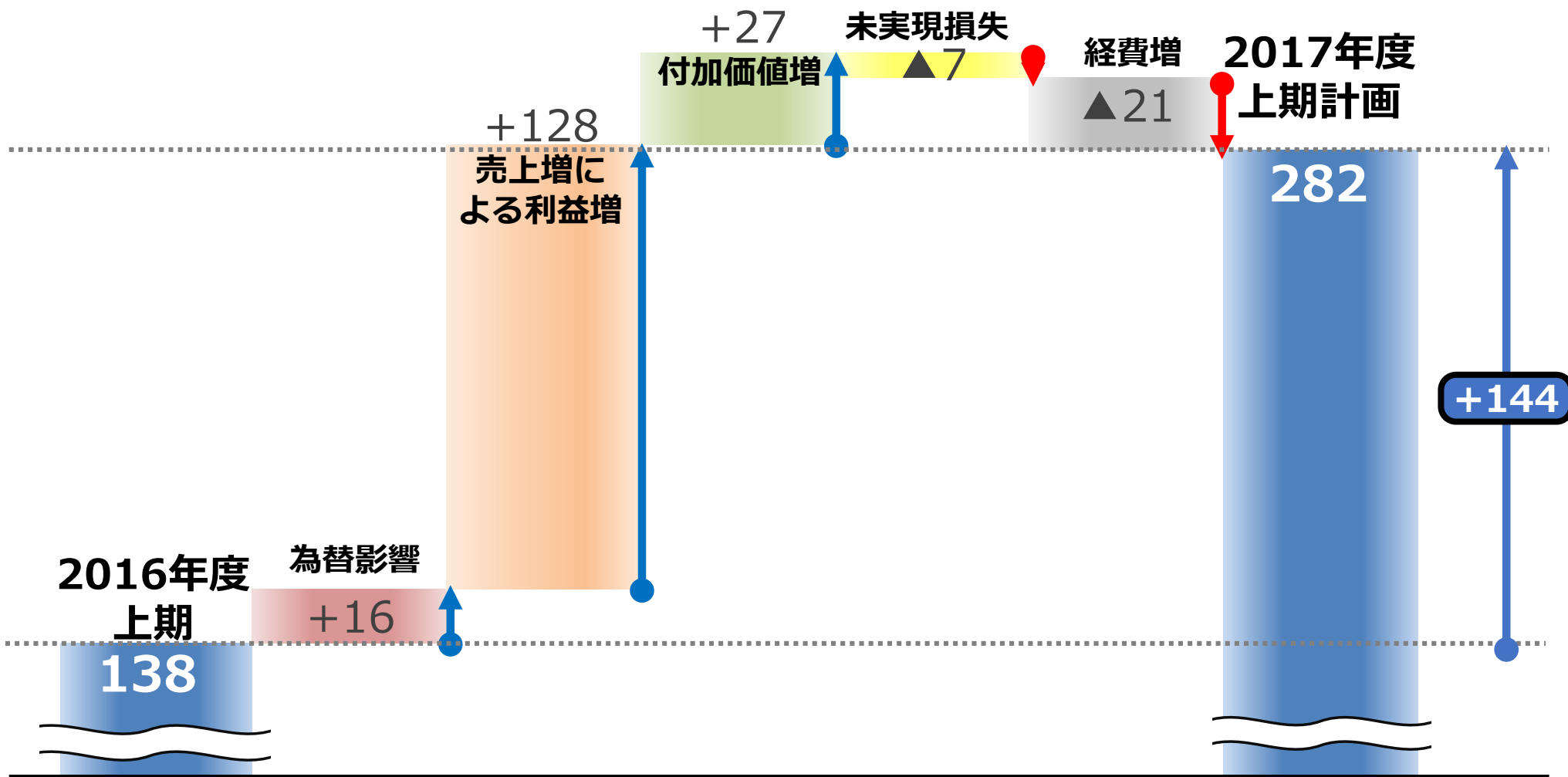
（単位：億円）

		2017年度 上期		2017年度 上期		前回予想比	2016年度 上期		前年同期比	
		今回予想	利益率	前回予想	利益率	増減額	実績	利益率	増減額	増減率
売上高		2,285		2,135		+150	1,876		+409	+21.8%
(M)	モーションコントロール	1,095		942		+153	832		+263	+31.6%
(R)	ロボット	800		770		+30	684		+116	+17.0%
(S)	システムエンジニアリング	290		312		▲22	247		+43	+17.5%
	その他	100		111		▲11	114		▲14	▲11.9%
営業利益		282	12.3%	197	9.2%	+85	138	7.4%	+144	+104.1%
(M)	モーションコントロール	216	19.7%	149	15.9%	+67	108	13.0%	+108	+100.0%
(R)	ロボット	85	10.6%	66	8.6%	+19	56	8.2%	+29	+52.2%
(S)	システムエンジニアリング	▲8	▲2.8%	▲6	▲2.1%	▲2	▲16	▲6.5%	+8	-
	その他	▲2	▲2.0%	▲4	▲4.0%	+2	▲4	▲3.7%	+2	-
	消去または全社	▲9	-	▲7	-	▲2	▲6	-	▲3	-
経常利益		272	11.9%	202	9.5%	+70	138	7.3%	+134	+97.7%
親会社株主に帰属する当期純利益		183	8.0%	133	6.2%	+50	86	4.6%	+97	+112.6%

[注] 表内「2017年度上期 前回予想」は、2017年04月20日 通期決算発表時の数値

営業利益増減要因分析（2016年度 上期 → 2017年度 上期計画）

（単位：億円）



【参考】2017年度 通期見通し（連結：従前の決算期間）

	2017年度 予想 〈参考値〉	2017年度 前回予想	前回予想比 増減額	2016年度 実績	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	4,450億円	4,300億円	+150億円	3,949億円	+501億円	+12.7%
営業利益	485億円	400億円	+85億円	304億円	+181億円	+59.5%
経常利益	480億円	410億円	+70億円	320億円	+160億円	+50.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	320億円	270億円	+50億円	204億円	+116億円	+56.9%

[注] 2017年度予想値〈参考値〉は、対象期間を従前の決算期間（2017年3月21日～2018年3月20日）に置き換えた数値（詳細は巻末_参考資料を参照）

3. 参考資料

決算期変更による影響額（下期、通期）

- ・ 2017年度より決算期を『3月20日』から『2月末日』に変更による影響額は下記の通り

		決算期変更前			決算期変更後		
2017年度 見通し (単位：億円)		上期 計画	下期 計画	通期 計画	下期 計画	通期 計画	差違
売上高		2,285	2,165	4,450	2,005	4,290	▲ 160
(M)	モーションコントロール	1,095	914	2,009	883	1,978	▲ 31
(R)	ロボット	800	800	1,600	765	1,565	▲ 35
(S)	システムエンジニアリング	290	338	628	254	544	▲ 84
	その他	100	113	213	103	203	▲ 10
営業利益		282	203	485	173	455	▲ 30
(M)	モーションコントロール	216	131	347	126	342	▲ 5
(R)	ロボット	85	68	153	61	146	▲ 7
(S)	システムエンジニアリング	▲ 8	14	6	▲ 3	▲ 11	▲ 17
	その他	▲ 2	▲ 4	▲ 6	▲ 4	▲ 6	▲ 1
	消去または全社	▲ 9	▲ 7	▲ 16	▲ 7	▲ 16	0
経常利益		272	208	480	178	450	▲ 30
親会社に帰属する当期純利益		183	137	320	117	300	▲ 20

セグメント変更による過年度遡及①（2016年度4-6月期、7-9月期）

- ・ 2017年度4-6月期より**セグメント区分を変更**
- ・ 2016年度の業績をセグメント区分変更後のベースで下記に記載

(単位：億円)		2016年度（セグメント変更前）				2016年度（セグメント変更後）				セグメント変更影響	
		4-6月期	利益率	7-9月期	利益率	4-6月期	利益率	7-9月期	利益率	① VS ③	② VS ④
		①		②		③		④		増減額	増減額
売上高		904		973		904		973		-	-
(M)	モーションコントロール	435		452		408		424		▲27	▲27
(R)	ロボット	324		360		324		360		-	-
(S)	システムエンジニアリング	90		102		117		130		+27	+27
	その他	54		59		55		59		+0	+0
営業利益		55	6.0%	84	8.6%	55	6.0%	84	8.6%	-	-
(M)	モーションコントロール	43	9.9%	53	11.8%	46	11.4%	62	14.5%	+3	+8
(R)	ロボット	22	6.9%	34	9.3%	22	6.9%	34	9.3%	-	-
(S)	システムエンジニアリング	▲ 6	▲6.8%	▲ 1	▲0.5%	▲ 9	▲7.3%	▲ 7	▲5.7%	▲2	▲7
	その他	▲ 1	▲2.0%	▲ 1	▲1.2%	▲ 2	▲4.0%	▲ 2	▲3.3%	▲1	▲1
	消去または全社	▲3	-	▲ 2	-	▲ 3	-	▲ 2	-	-	-

セグメント変更による過年度遡及②（2016年度上期、通期）

- ・ 2017年度4-6月期より**セグメント区分を変更**
- ・ 2016年度の業績をセグメント区分変更後のベースで下記に記載

(単位：億円)		2016年度（セグメント変更前）				2016年度（セグメント変更後）				セグメント変更影響	
		上期	利益率	通期	利益率	上期	利益率	通期	利益率	⑤ VS ⑦	⑥ VS ⑧
		⑤		⑥		⑦		⑧		増減額	増減額
売上高		1,876		3,949		1,876		3,949		-	-
(M)	モーショントロール	887		1,833		832		1720		▲55	▲113
(R)	ロボット	684		1,400		684		1400		-	-
(S)	システムエンジニアリング	193		482		247		594		+54	+112
	その他	113		234		114		235		+0	+1
営業利益		138	7.4%	304	7.7%	138	7.4%	304	7.7%	-	-
(M)	モーショントロール	96	10.9%	208	11.3%	108	13.0%	228	13.2%	+12	+20
(R)	ロボット	56	8.2%	103	7.3%	56	8.2%	103	7.3%	-	*
(S)	システムエンジニアリング	▲ 7	▲3.5%	9	1.9%	▲ 16	▲6.5%	▲ 6	▲1.0%	▲9	▲15
	その他	▲ 2	▲1.6%	▲ 2	▲0.8%	▲ 4	▲3.7%	▲ 7	▲3.1%	▲2	▲5
	消去または全社	▲ 6	-	▲ 13	-	▲ 6	-	▲ 13	-	-	-

設備投資、研究開発費、為替状況

◆設備投資の状況

(単位：億円)

	2015年度実績	2016年度実績	2017年度計画
設備投資額	167.6	149.1	200.0
減価償却費	130.6	120.8	130.0

◆研究開発投資の状況

(単位：億円)

	2015年度実績	2016年度実績	2017年度計画
研究開発投資	168.2	179.8	180.0

◆為替状況

(円)

	2015年度実績			2016年度実績			2017年度想定				
	1Q	上期	通期	1Q	上期	通期	1Q 実績	2Q	上期	下期	通期
対 米ドル	120.2	121.9	120.8	110.8	107.1	108.4	111.9	110.0	110.9	110.0	110.5
対 ユーロ	131.2	134.3	133.0	124.5	120.0	119.2	120.9	120.0	120.5	115.0	117.7

※1. 為替レートについては、期中平均レートを記載

※2. 17年度下期の想定為替レートは、2017年4月20日発表の計画から変更しておりません。

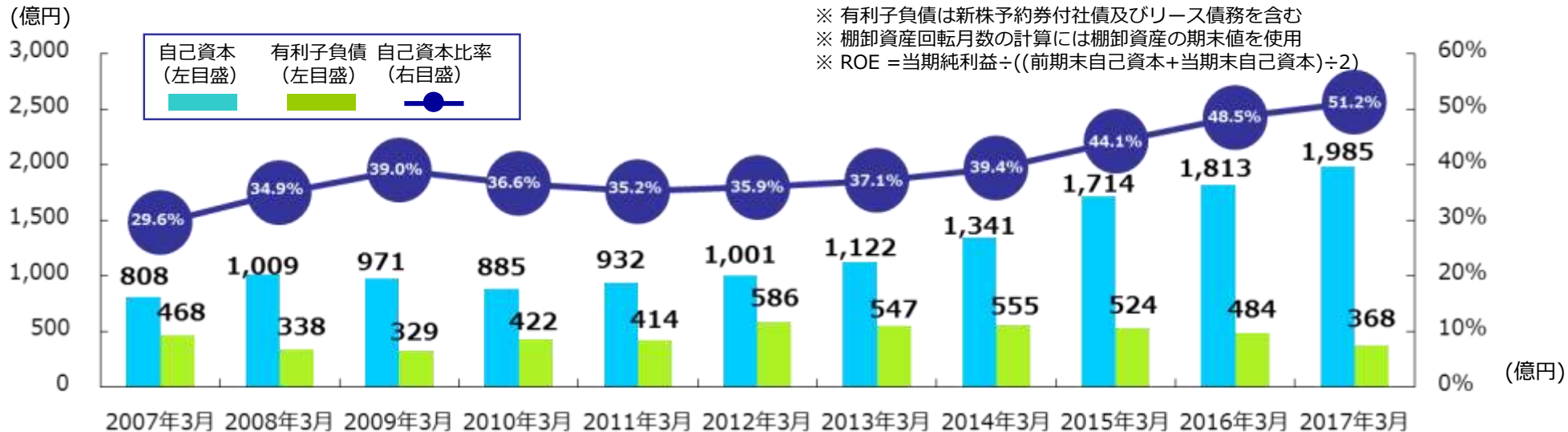
B/S 構造の推移

2017年3月20日時点

- 自己資本比率 51.2%
- 自己資本 1,985億円
- 有利子負債 368億円
- D/Eレシオ 0.19
(ネットD/Eレシオ) 0.04
- 棚卸資産 799億円
(回転月数) (2.4ヶ月)
- ROE 10.7%

2017年6月20日時点

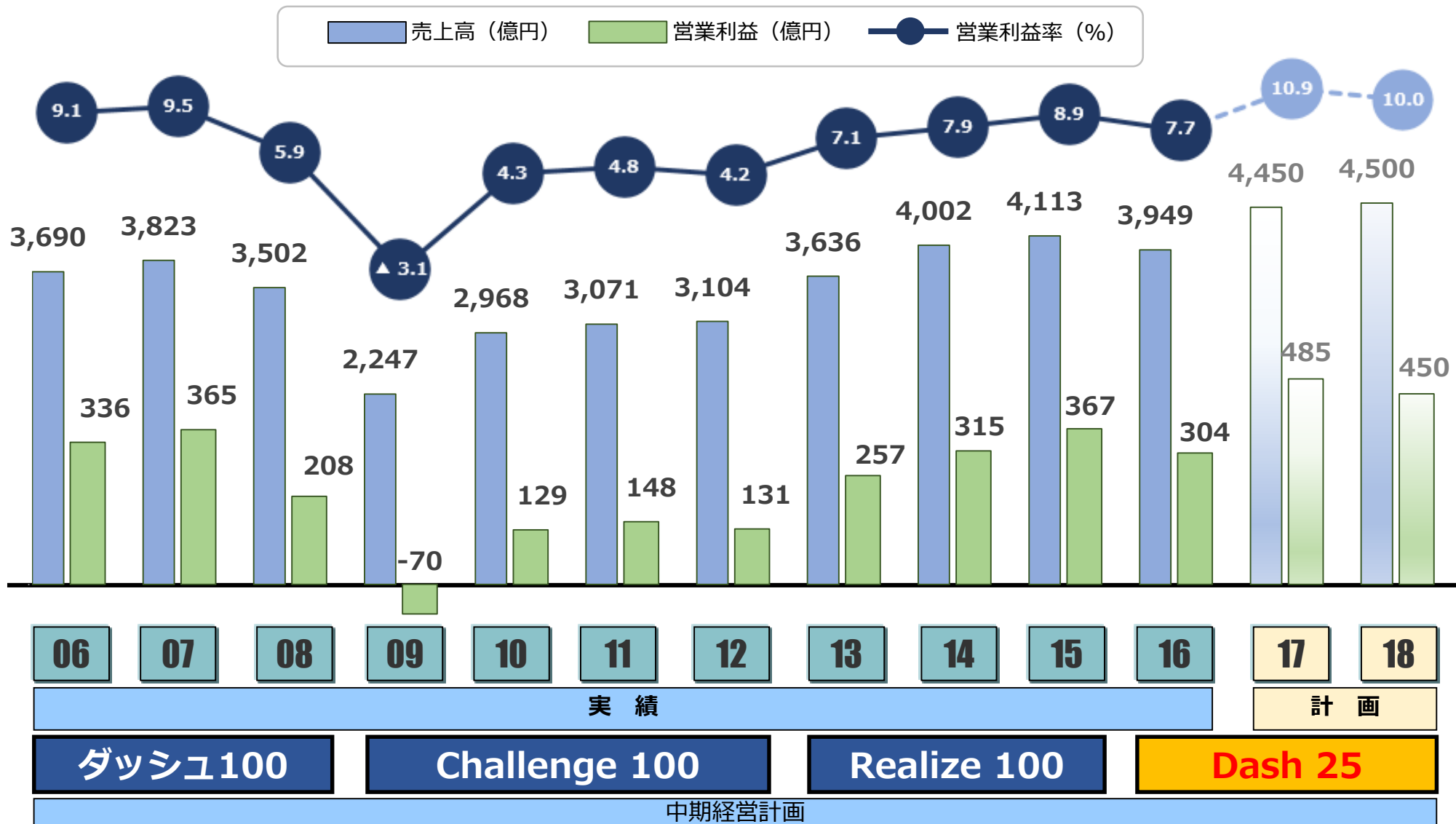
- 自己資本比率 51.4%
- 自己資本 2,060億円
- 有利子負債 366億円
- D/Eレシオ 0.18
(ネットD/Eレシオ) 0.00
- 棚卸資産 897億円
(回転月数) (2.5ヶ月)



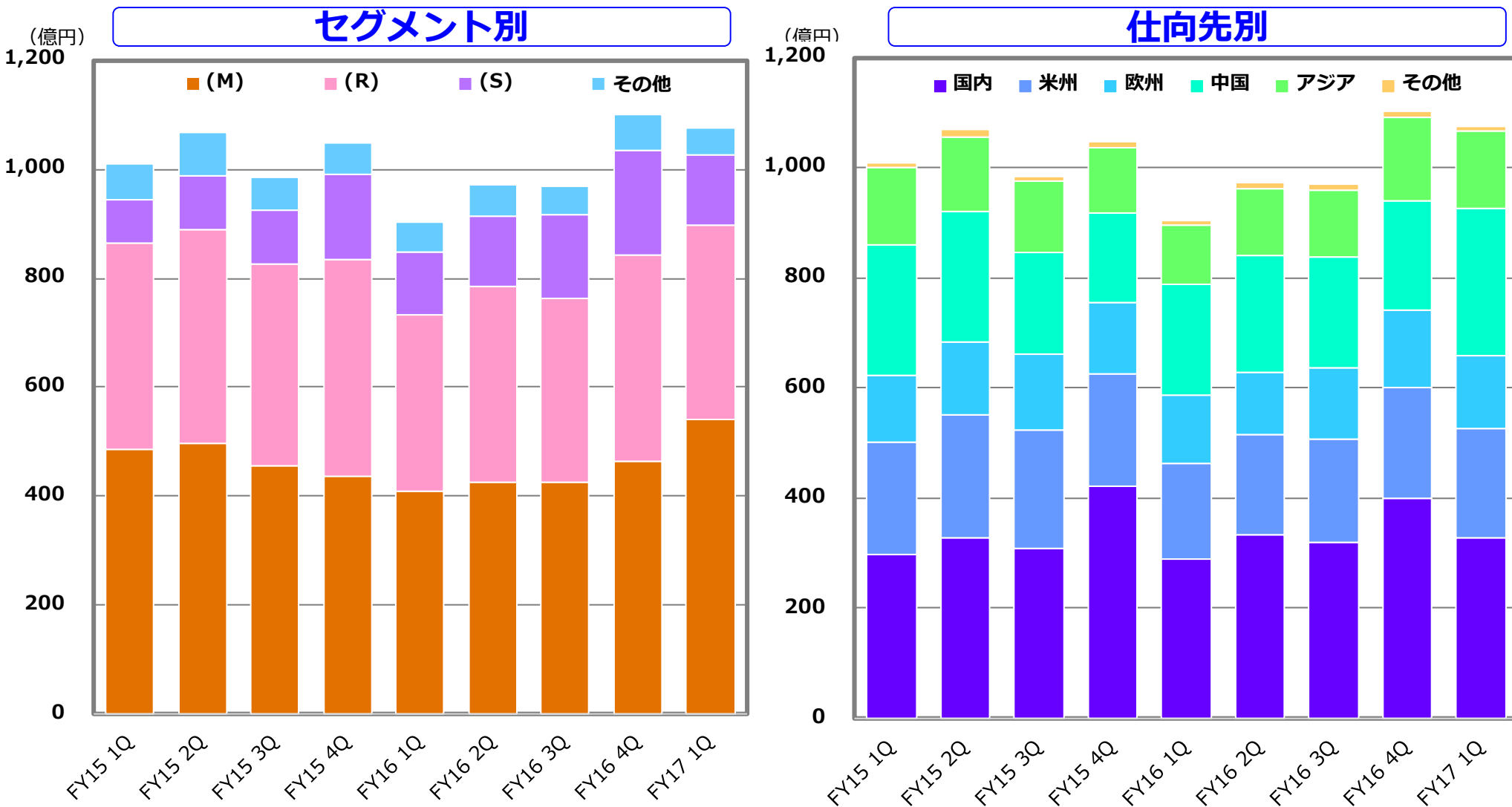
※ 有利子負債は新株予約券付社債及びリース債務を含む
 ※ 棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用
 ※ ROE = 当期純利益 ÷ ((前期末自己資本 + 当期末自己資本) ÷ 2)

営業CF	150	177	125	40	25	64	246	240	290	320	338
投資CF	▲61	▲99	▲107	▲65	▲67	▲119	▲181	▲169	▲279	▲224	▲189
フリーCF	89	78	18	▲24	▲43	▲55	66	70	11	95	148

連結売上高・営業利益推移（2006年度～2018年度計画）



四半期連結売上高推移



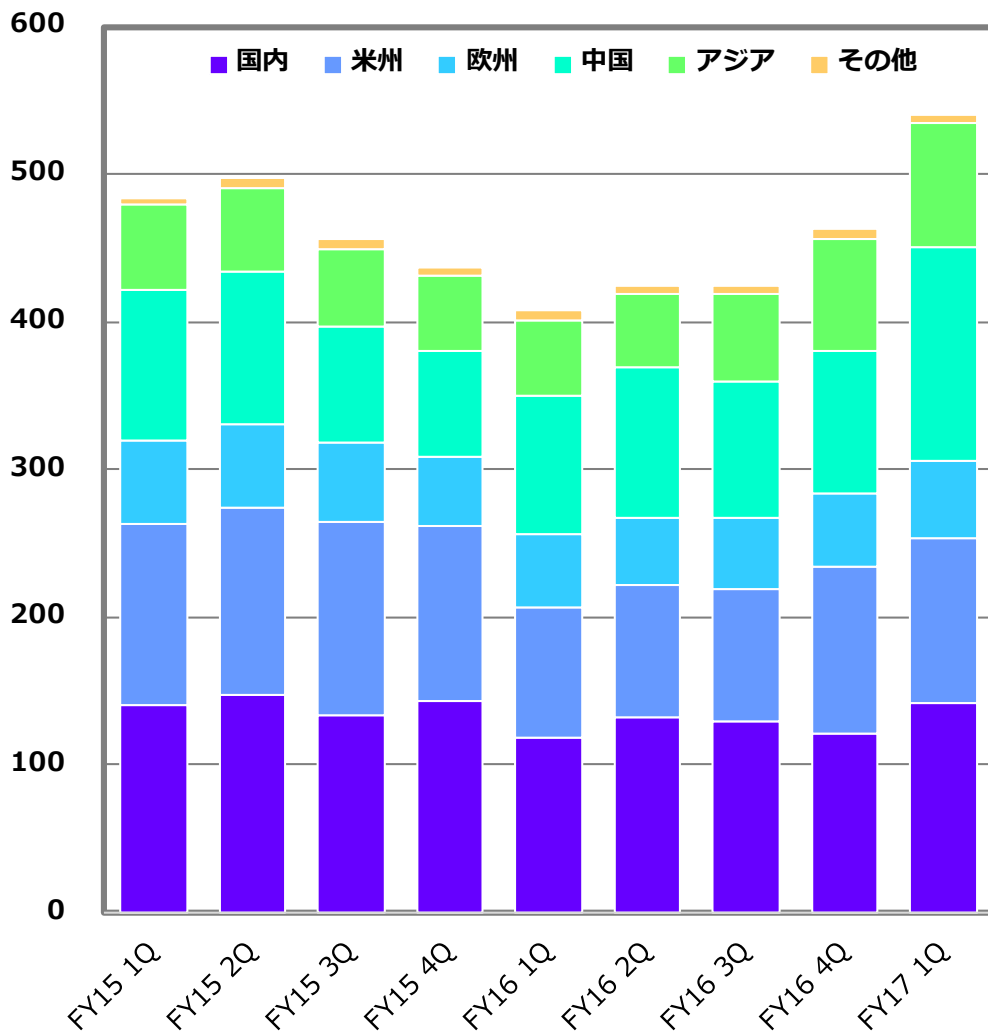
[注] 表記：(M) = モーションコントロール、(R) = ロボット、(S) = システムエンジニアリング

[注] FY2015の数値は、セグメント区分見直し前の数値を使用

四半期連結売上高推移

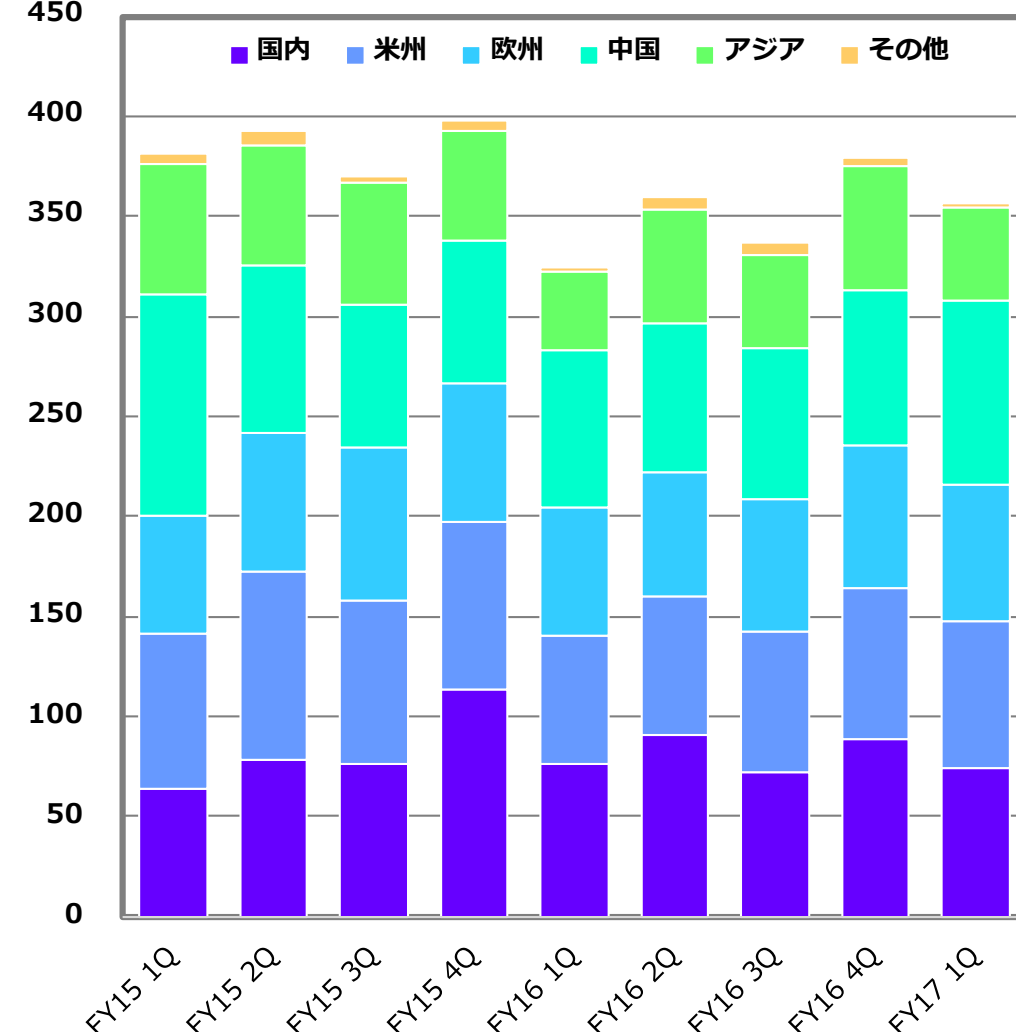
(M) モーションコントロール

(億円)



(R) ロボット

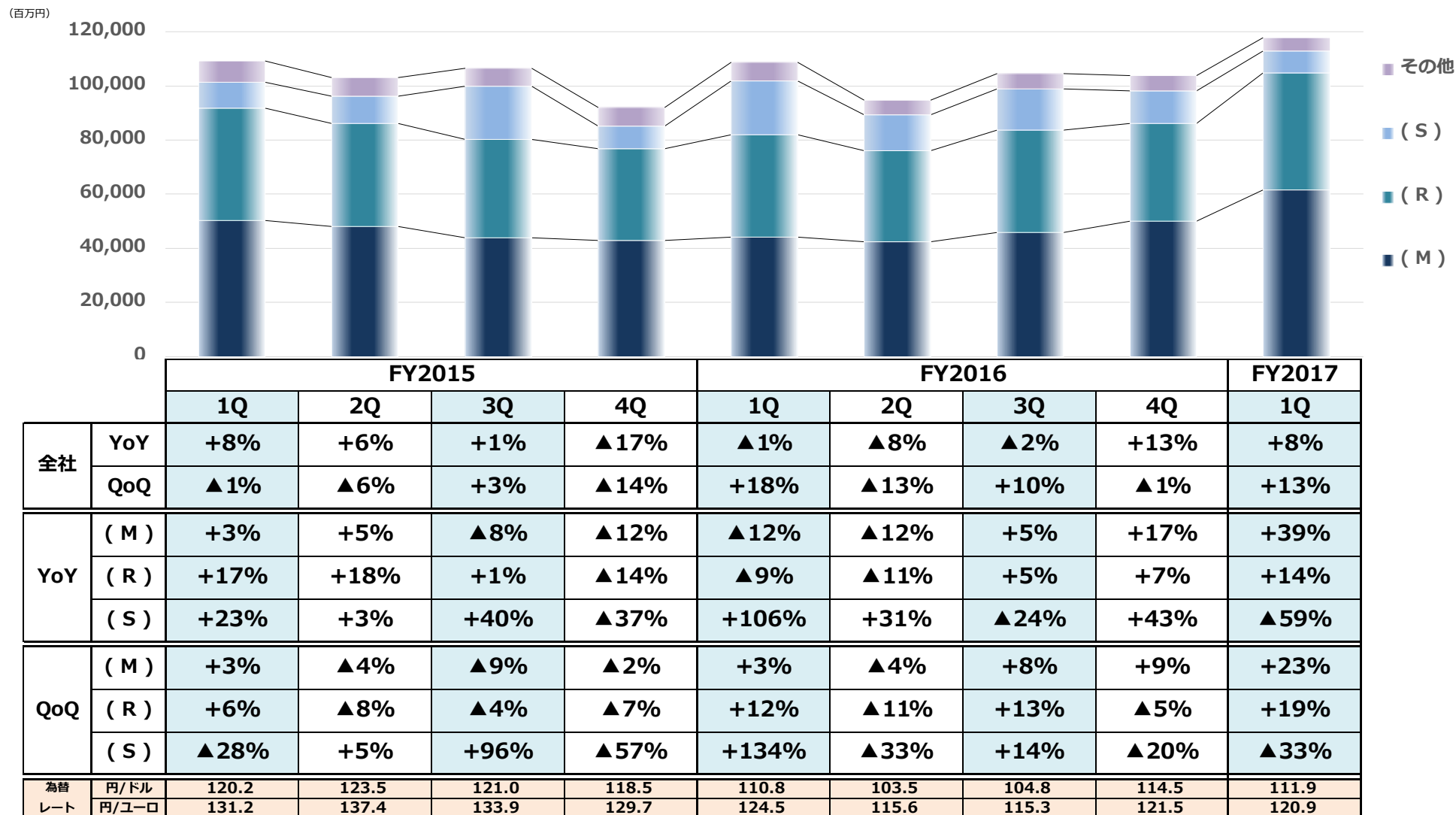
(億円)



[注] FY2015の数値は、セグメント区分見直し前の数値を使用

四半期連結受注推移

※為替は期中平均レートを使用



[注] 表記：(M) = モーションコントロール、(R) = ロボット、(S) = システムエンジニアリング

[注] FY2015の数値は、セグメント区分見直し前の数値を使用

主要生産拠点



YASKAWA